Special concrete

座長:齋藤尚(土木),山﨑順二(建築)

Wed. Jun 26, 2024 1:00 PM - 3:00 PM Room 2 (小展示室B)

[1192]Experimental study on the wide range of application of a new concept concrete with special chemical admixture to enhance the productivity of concrete work under hot weather conditions

Yu ISAJI[1], Kuniaki Sakurai[1], Kazuhide Saito[2], Takuya Oishi[2] (1.大林組 2.竹本油脂)

Keywords: 暑中コンクリート、特殊混和剤、流動性、許容打重ね時間間隔、ブリーディング、圧縮強度

生コン工場で製造したコンクリートに特殊混和剤を添加することで，施工性を改善できる新しい暑中コンクリートを開発している。本稿では，暑中期のコンクリート工事に幅広く汎用的に適用できることを検証するため，日本各地の生コン工場の呼び強度や流動性の異なるコンクリートを用いて実機レベルでの検討を行った。その結果，コンクリート温度に応じて特殊混和剤の添加量を調整することで，標準期の特殊混和剤を用いない普通コンクリートと同等以上の流動性を保持できること，材料や配合条件によらず幅広く適用できること，添加前後のフレッシュ性状の変化は小さく，硬化後の品質も同等であること等を確認した。

©Japan Concrete Institute